

新拠点ゾーン整備基本構想素案【概要版】

■新拠点ゾーン整備基本構想策定の背景・経緯

- 松戸駅周辺地域が、文化・伝統を育んできた本市の中心市街地であり続けるためにも、今ある魅力を生かしつつ、新たな街の魅力を創生することにより、活気や賑わいを高めていくことが求められています。
- そのため、平成27年6月に「松戸駅周辺まちづくり基本構想」を策定しました。

松戸駅周辺の整備コンセプト

Be ルネサンス 松戸
～ 松戸駅周辺を文化の香る
にぎわいあふれる広場へ～

新拠点ゾーンの位置付け

**「新たな松戸の顔となる便利で
魅力あふれる拠点」**

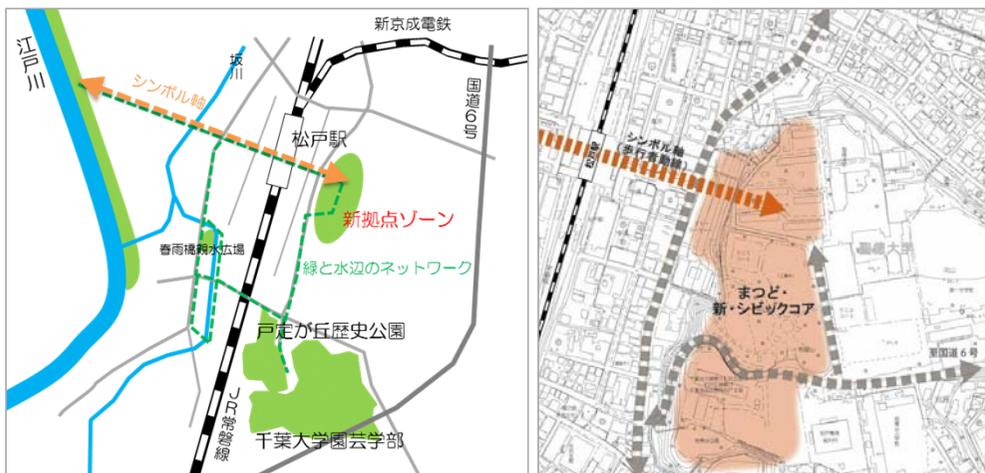
- 「新拠点ゾーン整備基本構想」は、新拠点ゾーンを整備する際の魅力を最大限に引き出すための整備の基本方針を示すものです。

■新拠点ゾーンのコンセプト(目指すべき方向性)

「まつど・新・シビックコア」

- 多核都市松戸の、もっとも中心の核(コア)となる。松戸市民の広場となる
- 「東京に最も近いみどり豊かな生活都市」として、松戸ならではの魅力の象徴(コア)となる
- 多様・多世代の市民が集い、新しい多彩な市民活動・文化活動が始まり、活気にあふれる松戸を創り出す(クリエイトする)拠点(コア)となる

■位置・エリア図



■新拠点ゾーンの基本方針

機能のあり方

- 松戸駅周辺の老朽化した文化施設の再編及び庁舎の移転によって、多世代・多様な市民が交流しつつ、多彩な都市活動・市民活動・文化活動を生み出し(クリエイトし)、発信する中心拠点をつくります
- 上記の都市活動・市民活動・文化活動を触発し・支える場となる、新しい公共施設のあり方を追求します
- シビックコアにふさわしい商業の集積を図り、市民が憩い、楽しめる場所とし、公共施設や公園が一体となった松戸ならではの魅力を創造します
- 大規模災害の発生に備えた災害対策機能を充実します
- 周辺や市内の大学との機能的、空間的な連携を確実に図り、人々が集まる機会を創出し、本拠点の生き生きとした活用につなげます

空間のつくり方

- 駅近くにある成熟したみどりを最大限に生かし、地球環境に配慮した自然の豊かな場所をつくります。地形を生かしたデザインとします
- みどりとともに歴史や文化を生かした空間形成に努め、市民のみならず市外からも多くの人を魅きつけます
- 拠点ゾーンの外に広がる緑と水辺空間による広域的なネットワークを形成します(図参照)。江戸川から新拠点ゾーンへと続くシンボル軸を形成します(図参照)
- 個々の建物がまちなみを形成し、人々が行き交い、集い、憩い、楽しむ場所をつくります。広場、マルシェ、オープンカフェ、さらには、様々な空間を活用し、市民が集える場所を随所につくります
- 徒歩、自転車で楽しく、自動車で快適にアクセスできるようにします

計画のすすめ方

- 計画をすすめるプロセスでは、周辺地域の方々や多くの市民の意見を伺うなど積極的に対話を行います
- 事業計画の立案にあたっては、次世代への負担を低減するよう努めます
- 民間活力を最大限に活用し、事業の推進及び管理運営手法を検討します